

県内の野生イノシシのCSF(豚熱)感染が続発しています！

令和5年4月から6月までに、野生イノシシ6頭のCSF(豚熱)の感染が確認されました。昨年の同時期と比較して陽性個体数が増加しています(昨年4月から6月の野生イノシシCSF陽性個体は0頭)。

■CSF(豚熱)陽性が確認された野生イノシシ(令和5年4月～6月)

市町村	検査実施年月	頭数
美里町	R5.4	1
皆野町	R5.5	1
秩父市	R5.5	2
	R5.6	1
滑川町	R5.6	1

※捕獲地点から半径10km圏内の養豚農家に連絡し異常がないことを確認済みです。

兵庫県で初の豚熱患畜が確認されました！

発生概要

- ・所在地：兵庫県南あわじ市
- ・飼養状況：約650頭
- ・経緯：(1)兵庫県が南あわじ市の農場から、死亡頭数が増加している旨の通報を受け、当該農場に立入、病性鑑定を実施。
(2)7月22日に豚熱患畜であることが判明。

今後も以下の点を守って飼養をお願いします

- *アフリカ豚熱等の発生地域、非清浄地域への海外渡航はしない
- *野生イノシシの住んでいるエリアに豚を連れて行かない
- *餌は豚専用の餌を与えるか、豚専用以外の餌を与える場合十分な加熱をする
- *CSF(豚熱)ワクチン接種を必ず受ける(1頭につき4回の接種が必要)
- *野鳥やネズミなど病原体を媒介する動物から飼養豚を守るため飼養衛生管理を徹底する(詳しくは裏面参照)



飼養衛生管理の徹底をお願いします

愛玩豚の伝染病予防のため、以下の飼養衛生管理の遵守をお願いします。

- ① 豚の世話をする前後には、手指の洗浄・消毒をして下さい。
- ② 飼養管理に使用する器具（ケージ等）の清掃または消毒を定期的にして下さい。
- ③ 飼養管理に使用する器具（ケージ等）を外から持ち込む、または外に持ち出す場合には、洗浄・消毒をして下さい。
- ④ 豚の健康状態は毎日観察し、異状が確認された場合には、かかりつけの獣医師または家畜保健衛生所に連絡して下さい。

【屋外飼育の場合には・・・】

- ⑤ 柵や塀などで囲まれた中で豚を飼育し、野生動物と接触しないようにして下さい。
- ⑥ 野鳥が寄り付かないように、給餌場所に防鳥ネットを張る、給餌中は監視するなどの対策をしてください。食べこぼしはこまめに清掃し、餌は屋内で保管して下さい。

< CSF（豚熱）の情報について >

病原体	ウイルスが病原体で感染するのは豚とイノシシのみ
症状	・発熱、食欲不振、うずくまり、ふるえる、後躯麻痺・チアノーゼ
特徴	・豚－豚(イノシシ)間の接触、人、モノ、食品残渣等により感染 ・野鳥やネズミなども病原体の媒介となりうる ・有効なワクチンあり

埼玉県中央家畜保健衛生所（さいたま市北区别所町 107-1）
TEL:048-663-3071 （24 時間、土日祝日も受付）